



シルバーだより

道 標

第 26 号

令和 7 . 7 . 25

理事長あいさつ

②

令和七年度定時総会開催

②

理事の紹介

③

令和七年度重点項目

④

重点項目達成に向けた取り組み

④

安全・適正就業に向けて

⑤

働く仲間

⑤

表彰者のご紹介

互助会だより

⑥

趣味の広場

⑦

事務局通信

⑦



地域と共に未来に輝く

大分市シルバー人材センターをめざして

理事長あいさつ

理事長
江藤 郁

〈三期目に向けて〉

この度開催された令和七年度定時総会とその後の理事会で三期目の理事長の任に当たることとなりました。会員皆様方からの信任に對しまして、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。副理事長及び理事各位、事務局職員と団結して大分市シルバー人材センター事業の推進を図ってまいります。

さて、企業の七十歳までの雇用の努力義務化により、退職後も企業で働かれる人が増加するとともに、年金が減少する中、物価の高騰により多くの収入を得られない臨・短・軽のシルバーでは働けないと、入会をされてもすぐに退会をされる会員が多くなっています。同時に、最近は、入会説明会への参加者の減少により、会員数や、受注金額も縮小しており、シルバー人材センターに対する環境の厳しさがひしひしと感ぜられる二年間でした。

この状況を打開するためには、まずは会員の拡大、次に就業開拓の取り組みが重要です。そのうち会員の拡大には皆様方一人ひとりのご協力が何よりも必要ですので、一人一会員の獲得の実現へのご協力をいただきますようお願い申し上げます。私どもも理事会、事務局挙げて就業開拓に取り組んでまいります。

また、昨年十一月一日施行のフリーランス法により、就業条件の明示を行うとともに、新たな契約方法への移行について、来年四月からの実施に向け、会員の皆様への周知はもとより、県や市、企業の皆様への説明、規程、規約や利用契約書の制定などいよいよ、その取り組みが待ったなしとなっております。

最後になりますが、私はこれまで大分県連合会会長として全シ協（全国シルバー人材センター事業協会）に地方の意見を述べてまいりましたが、令和七年度からは全シ協の代議員となりましたので、その立場からも地方の意見や状況を中央に伝え、皆様のより一層お役に立てるよう取り組みでまいります。会員皆様方には「安全はすべてに優先する」あせらず 無理せず 油断せずを合言葉に常に安全就業を徹底されますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和七年度 定時総会開催

去る六月十一日(水)午後一時三十分より大分市コンパルホール（文化ホール）において令和七年度定時総会を開催いたしました。



総会に先立ち会員表彰式が行われ、理事長より受賞された三十三名（重複受賞者有）の方へ表彰状と記念品を贈呈いたしました。



総会に入り、江藤理事長より、長年にわたりシルバー人材センターの取り組みへの貢献に對して表彰を受けられた会員への感謝と今後のご活躍を祈念するとともに、昨年十一月十二日に開催された四十周年記念式典へのご協力への御礼、会員の皆様は「生きがい」を感じながら「安全」に就業いただけるよう年齢や体力に無理のない働き方を大切に、活動に取り組んでいただきたいこと、また職員一同会員の

皆様と力を合わせ地域に必要とされる存在であり続けるよう努めたい旨ご挨拶いたしました。



次に大分市長 足立信也様、大分市議会議員 田島寛信様、大分県シルバー人材センター連合会会長 江藤郁様からのメッセージと祝電が披露されました。

議案審議に先立ち議長に山崎陽二さん(滝尾A班)を選任し審議に入りました。



第一号議案…令和六年度事業報告について(案) 第二号議案…令和六年度収支決算報告(案)並びに監査報告について第三号議案…大分市シルバー人材センター正会員会費規程の一部改正について(案) 第四号議案…役員の選任について(案)の各議案について、事務局長より提案し、いずれも原案通り承認されました。

続いて第一号報告…令和七年度事業計画について 第二号報告…令和七年度収支予算について 第三号報告…新たな契約方法への移行時期について 第四号報告…大分市シルバー人材センター会員就業規約の一部改正について の報告が行われました。

出席されました会員の皆様の多大なご協力により、総会が滞りなく進行できましたことに厚くお礼申し上げます。

総会後、任期満了に伴う新役員の紹介と、安全・適正就業委員会の幸義広委員長による「安全就業研修」を行いました。



新理事の紹介

理事長 江藤 郁

副理事長(剪定部会代表)

深草 秀昭

常務理事 釘宮 祐一

理事(大分市) 正池 功

理事(草刈り部会代表) 新佐藤 秀典

理事

(福祉・家事援助サービス部会代表) 河合伊津子

理事(安全・適正就業委員会代表) 幸 義廣

理事(一地区代表) 吉村正太郎

理事(二地区代表) 渡邊 邦治

理事(三地区代表) 新西田 明彦

理事(四地区代表) 衛藤 光

理事(五地区代表) 新首藤多恵子

理事(六地区代表) 新板井 正直

理事(七地区代表) 大野 憲一

理事(互助会代表) 小浦 良雄

理事(会員代表) 渋谷 建治

理事(会員代表) 高橋 豊文

理事(会員代表) 新齊藤 道子

監事(大分市) 新田崎 敢

監事(会員) 仲矢 吉徳

理事専門部会のご紹介

業務の執行を決定する理事の役割分担は次のとおりです。

●総務部会

規程・規則・要綱に関することなどを協議

正池 功 釘宮 祐一
西田 明彦 板井 正直
大野 憲一 小浦 良雄

●請負部会

請負委任業務に関することなどを協議

深草 秀昭 佐藤 秀典
河合伊津子 吉村正太郎
首藤多恵子 渋谷 建治

●派遣部会

派遣業務に関することなどを協議

幸 義廣 渡邊 邦治
衛藤 光 高橋 豊文
齊藤 道子



令和七年度重点項目

定時総会の決定を受け、令和七年度の重点項目は、組織力の強化、財政基盤の確立、安心安全な就業環境の確立強化、会員の増強、デジタル化の推進とされています。

《目標数値》

主な目標数値は、次のとおりです。

	目標数値	5月末の実績
会 員 数	1,600人	1,460人
受 注 件 数	8,500件	3,353件
契 約 金 額 (請負・委任)	400,000千円	57,219千円
契 約 金 額 (派遣)	280,000千円	36,210千円
事 故 件 数	10件以内	4件

重点項目達成に向けた取り組み

① 組織力の強化

事務局や部会の組織強化を図

るとともに、会員の意識改革、地域班の充実強化に努めます。

- ・職員研修の実施
- ・業務の効率化の追求
- ・新入会員に対しての研修の実施
- ・地区班ボランティア活動の実施 など

② 財政基盤の確立

広報の充実を図るとともに、就業開拓のための営業活動を強化します。

- ・スーパーマーケットや福祉施設などへの営業活動の実施
- ・右記業種についての派遣契約の積極的な移行の推進
- ・地元紙や折込チラシによる広報
- ・ハローワークや商工会議所などの関係機関との連携
- ・PR拠点や交流拠点機能の設置
- ・シルボンヌ委員会（女性委員会）による就業開拓 など

③ 安心安全な就業環境の確立強化

安全・適正就業委員会や部会での安全対策の強化を図ります。

- ・安全就業への注意喚起、安全標語、年間を通じたヒヤリハット事例の募集と会員への周知
- ・安全ニュースの毎月発行と安

全意識の高揚

- ・安全パトロールの計画的実施
- ・交通事故の防止と安全運転研修の定期的実施 など

④ 会員の増強

会員拡大のため入会説明会、広告宣伝の充実を図ります。

- ・理事及び会員の一人会員一名の会員登録の呼びかけの実施
- ・センターでの定期的な入会説明会の実施と地区公民館のほか、ショッピングセンターなどにおける出張説明会の実施
- ・会員募集折込チラシの配布
- ・女性向けセミナー、講座の開催による入会促進
- ・ホームページ等の求人欄の充実
- ・電話での就業斡旋や求人情報の随時提供、相談窓口の充実による退会者抑止 など

⑤ デジタル化の推進

事務局や会員のデジタル化を推進します。

- ・DVD、WEBによる入会説明会の実施
- ・ホームページの見直し
- ・スマホ教室、パソコン教室の実施 など

安全・適正就業に向けて

事故は他人事では
ありませんよ安全・適正就業委員会
委員長 幸 義広

冒頭のタイトルは、皆様には是非「訴えかけたい」という強い思いで事務局に掲載してもらいました。本当です。嘘じゃありません。その証拠に去年は事故が三十二件も発生してしまつて、これまでで二番目に多い事故発生年となりました。ですからここで少し事故の事例を紹介させていただきます。

「いやもういい」などと云わずに読んでください。

まず、滑って転んだ事故が三件。幸い大したことにはなりませんでした。高齡者は転ぶと「骨折」の嫌なおマケが付きます。それです。それで入院したら一番困るのは本人です。からね。次は脚立から後ろ向きに転落したり、脚立を踏み外して滑り落ちた人が二人。慌てていたんでしょかねえ。もうひとつ、車の事故が六件も起こりましてね。バックしていて車や外壁や、縁石やポールに傷をつけたり、驚いたのは車ごと側溝へ落ちた事故など枚挙にいとまがないとも言われました。へこんでしまう思いです。よ本当に。

まあしかしその中でも重篤事故が起こらなかったのは不幸中の幸いでした。事故件数が増えると重篤事故につながる比率が高くなると云われているんです。大分市シルバーではこれまで重篤事故は幸いに起きていません。しかし全国では毎年二桁の会員さんが亡くなる事故が発生しています。大変なことですよ。昨年の重篤事故の一例をお話ししましょう。剪定作業をされていた男性会員さんの事例です。生垣の剪定作業中、三脚から二メートル離れたスタンドバッグの上についていた状態で倒れていました。ヘルメットは着用していましたが、お亡くなりになりました。ヘルメットは着用していましたが、お亡くなりになりました。七十二歳の方です。日頃の健康管理はどうだったのか、持病はあったのかなど様々なことを考えてしまいます。七十二歳は会員ではまだ若い方です。シルバーに入会し第二の人生を謳歌していたかも知れませんが、孫の顔を見ればお小遣いを渡していたかも知れません。亡くなるということは最も悲しく、最も重大で、最も深刻なことだと思います。昨年度は全国では二十名の会員さんが亡くなり、その中で女性会員は三名でした。我々と同じシルバーの会員さんです。皆様、事故は決して他人事ではありません。自分のこととして受け止めてください。

働く仲間

表彰者のご紹介 (順不同)



【役員表彰者】

理事・監事を六年以上務められ
退任された方

宮園清孝(理事八年・佐賀関A班)
渡辺正道(理事八年・野津原班)
都甲堅治(理事六年・小佐井班)

【在籍十五年会員】

菅 清志 (三佐B班)
岡野清志 (荏隈B班)
池田照子 (東植田B班)
新田順子 (西の台A班)
都甲堅治 (小佐井班)
利光容子 (舞鶴B班)
長岡 茂 (桃園A班)
三重野勝 (城南班)

【地域班長歴任六年以上】

令和六年四月一日～令和七年三月三十一日の間に退任された地域班長の内、六年以上務められた方

吉良文治 (明野D班)
阿部俊夫 (松岡班)
高倉 博 (桃園B班)
武藤孝夫 (坂ノ市班)
西尾敬昭 (明野A班)
片岡桂子 (荏隈B班)
後藤康子 (田尻A班)
渡辺正道 (野津原班)

前嶋サチミ(津留班)
尾林耕次(滝尾D班)
若杉孝宏(田尻C班)
小浦良雄(中島A班)
朝見マスミ(竹中班)
伊東盛夫(賀来A班)
荘田廣子(荷揚・長浜班)
高橋恒夫(明野A班)
高倉 博(桃園B班)
脇田清治(坂ノ市班)
上野サチ子(大在B班)
川崎裂男(南大分B班)
東 政春(明治C班)
岩男 昂(津留班)

表彰を受けて

ライフワークは大友氏の顕彰

若杉 孝宏(田尻C班)

還暦を迎える年に、自分にアイデンティティといえるものはあるのだろうか?と、漠然と考えました。父は田北家に生まれ、宗麟時代に家老をしていたと幼

いころから聞かされていたので、よし、これを調べてみよう

と思い立ったのです。それが今の自分の姿です。長らく広告業界に身を置き、六十三歳でデザイン事務所を譲り自由の身となりました。しかし年金のみでは心もとなく、少しでも収入を得なければ好きなことも出来ないシルバー人材センターに登録した次第です。登録後すぐに公民館の管理人の仕事を得、今年で十五年を迎えたのですがセンターから知らされるまで意識がありませんでした。

多趣味な私は数団体に所属し、またトリニータのサポーターで

もあり、仲間には常々「シルバーでの収入のおかげで好きなことが出来ている。これがないと役員なんかとてもできない」と話しています。もうすぐ八十代に突入しますが年齢を意識する暇がありません。

地域班長六年以上表彰者

片岡 桂子(荏隈B班)

先日、地域班長歴任六年以上表彰をいただきました。去年はシルバー人材センター会員在籍十五年でも表彰していただきました。表彰など、めったにないことなのでうれしい出来事でした。定年退職して、しばらくは家にいたのですが、まだ働きたい、何かしたいという気持ちがあったので、シルバー人材センターに入会しました。月一回の草取り、部屋の掃除、献血を促すためのポケットティッシュの配布など、いろんな仕事をしま

した。どれも大変良い経験になりました。またいろんな人達との出会いにも感謝しています。いろんな出会いの中で、若いうちから早く入会したいという人もいました。入会年齢が早ければいいのと言っていました。仕事をしたいと思っています。人が多いんだなと思いました。八十歳近くになると、もう多くの仕事ができませんが、働くために健康に気を付けますし、仕事としての予定があって出かけることは私の生きがいの一つになっています。ありがとうございます。

これからもお元気で
お仕事頑張ってください!



互助会だより

会長 小浦 良雄

平素より互助会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当互助会は昭和五十九年大分市シルバー人材センターの設立時に発足し、各種の会員間交流の行事等を開催してまいりましたが、この度、互助会はその役割を全うし、解散する運びとなりました。詳細につきましては、別紙にてご案内させていただきます。ご確認いただきませうようお願い申し上げます。

長らくのご支援に深く感謝申し上げますとともに、これからの皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



趣味の広場

ぬり絵

長畑 孝典さん



春のティータイム

短歌



遺骨すら

帰らぬままの伯父のため

兵への挽歌われは詠えり

限りなく

知覧の空は澄みてをり

征来る人の笑みをかなしき

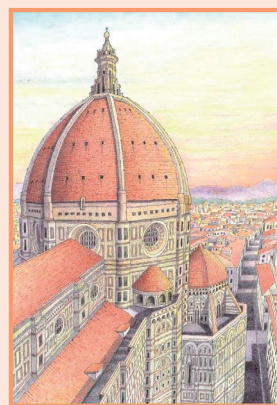
報復に殺し殺さる戦ひの

果てに勝者のつかむは何ぞ

長畑 孝典さん

寄稿

中城 正士さん



サンタマリア大聖堂



等から近年は単身高齢者が大半となり年間受注件数は最盛期の四割減になった。又、お客様の庭や家屋の周囲の状況は持主より詳しくなり、センター受注の際は「中城指名」のお客様もあり、八十代後半の女性数名からは「あの世に行くまで頼むね!」と言われており、大変ありがたく感謝している。

愛車の軽トラは昨年の車検の際に主要部品交換で快調! 運転免許も二度目の「認知機能検査」と「高齢者講習」を経て「視力・聴力検査」も突破して、本年五月無事に更新することができた。通院や服薬は無く、足腰・体力は草取稼業のお陰で余力もある。困ったことは一つ「運転は八十歳まで!」と息子からは言われている。

十三年目の本年も、「山の神」様に炊事・洗濯・掃除免除を祈願して、センターのご指示を順守して、「誠意と感謝・段取り八分仕事二分、安全就業第一」の三精神を持って、稼業に励みたいと思っている。



事務局通信

シルボンヌ委員会

五月十六日、シルボンヌ委員会主催で、クラフトバッグ教室を行いました。





皆さん初めての作品とは思えないほどの素敵な作品に仕上がりました。今後作品を販売するなどの女性の就業機会の拡大や、教室を通じての会員同士の交流、女性会員の入会促進につながるよう、今年度も活動を行ってまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

会員クラウドサービスの 利用促進について

六月から「事務局だより」等の紙での配布がなくなり、会員クラウドサービスなどによる、電子データでセンターのお知らせなど確認をしていただくようになります。つきましては、会員クラウドサービスへのご登録をお願いしております。スマートフォンをお持ちの方は左記の二次元コードからご登録いただき、ご利用ください。スマートフォンをお持ちでない方は事務所に会員さん用のパソコンを設置しておりますので、そちらでご覧いただくか、事務所までご来所いただければ紙でお渡しすることも可能です。配分金明細の確認や配分金支払証明書の発行などご利用いただけます。ご利用方法など不明な点は事務局までお問合せください。



会員クラウドサービスはこちら

正会員会費規程の 一部改正について

●令和8年度会費から金額が変わります

令和7年度会費

現在 1,500円

変更

令和8年度会費

変更後 2,000円

●令和8年度会費の納入期限も変わります

改正前 令和8年5月31日

変更

改正後 令和8年3月25日

令和8年度開始前に
令和8年度の会員継続の
意思確認のため

※令和8年3月上旬に納付書を
発送します

編集後記

六月二十四日、東京で全国シルバー人材センター事業協会の定時総会が開催されました。

今回で金子会長が退任され、令和7年度から新たに熊本県の連合会長である西島喜義氏が全シ協会長に選定されました。会員の減少傾向に歯止めがかからない状況ですが、九州出身の全シ協会長ですので、今後はなお一層、全国の仲間とともに、私たちが西島会長を支えるという気概でシルバー事業に取り組んでいかなければなりません。総会終了後には、意見交換会が行われ、全国各地のシルバー人材センターの代表が出席するなか、交流を深めました。

●会報編集委員

釘宮祐一・岡田加奈江
那賀美保・今石友美

シルバーだより

道 標 第 26 号

●発行／令和7年7月25日

●発行所／

公益社団法人 大分市シルバー人材センター

〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号

TEL 097-538-5575

FAX 097-538-5576

ホームページのご案内

<http://oita.o-sjc.com/>

